

大和市立図書館における新たな健康情報サービス

－健康コーナー，健康テラスの事業を例に－

石井夏世，柴田みゆき
大和市立図書館

1 はじめに

2016年11月3日に文化複合施設として開館した大和市文化創造拠点シリウスの中に、大和市立図書館はある。2009年2月1日に大和市が行った「健康都市 やまと」宣言では人・まち・社会の健康を実現させることを目指している。大和市立図書館は、大和市が目指す「健康都市」を支える施設として、健康コーナーと健康テラス事業を2つの柱として、健康情報サービスを提供している。

健康コーナーでは医学書だけではなく、健康を多角的に捉えた食事や運動、余暇の過ごし方などの本を合わせて約1万冊揃えている。

また、健康コーナーの隣には、小規模なイベントスペースの健康テラスがあり、誰でも気軽に参加できるイベントを毎日実施している。ここでは、医療情報に関する講座だけでなく、健康体操や手先を使う折り紙教室、世代間交流を目的とした企画など様々なイベントを行っている。さらには、市民自らが発信する場としても発展しつつある。

11月の開館から数ヶ月が経ち、これまでに取り組んだ事業を報告すると共に、今後の展望について考察する。

2 事業内容

- ①「大和市健康都市プログラム」の5つのリーディングプロジェクトに関連した資料収集と、従来の図書館の分類だけにとらわれない書架作り
- ②居心地の良い空間演出と、プライバシーに配慮した閲覧席や相談カウンターの設置
- ③健康度見える化コーナー（無料で自由に利用できる健康測定機器を設置）、健康遊具、健康コーナーが同フロアにあることによる相乗効果
- ④市立病院や市の行政機関などとの連携
- ⑤居場所、交流、発信の場としての健康テラス

3 今後の展望

- ①利用者にとっての利便性向上のため、書架案内の作成や定期的な蔵書の見直し、選書
- ②健康テラスを活用し、全世代を対象とした健康情報サービスの提供
- ③健康コーナー専任スタッフの能力向上